

発行：株式会社北海道しんきん情報サービス 〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811

## TOPICS.1

### 第24回 定時株主総会開催

去る6月14日(金)、信金中央金庫北海道支店において、当社の株主である道内全20金庫のご出席をいただき、第24回定時株主総会を開催いたしました。

当日は、第23期(2023年度)事業報告の後、第1号議案の貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件など全5議案について審議、全て原案通り承認されました。

なお、会議に先立ち、武田社長から次のとおりご挨拶がございました。



#### 挨拶内容

各金庫総代会でお忙しい中、ご出席誠に有難うございます。

今年は元日から北陸での大震災という前途多難な幕開けとなりました。

天変地異が極端化している昨今、多くの株主信用金庫にシステム提供している当社としては、常に安全性を保ち万全の体制でサービス提供することが第一義であり、リスク管理体制、安全運用・安全対策については常に見直しを図りながら、取組んでいるところです。

あらゆる方面で重くのしかかる「リスク管理」ですが、昨今の世情で最大のリスクは「人の問題」になっており、先般の業界誌にも、信用金庫業界の最大の経営リスクは、金利上昇や円安といった市場環境の変化よりも、採用難と離職者の増加によって人繋りがつかなくなり、組織と業務の縮小を余儀なくされることと書いておりました。

現実問題として、当業界のみならず社会全体で、早い段階での離職率が大変高くなっているようです。新入社員でいえば、まだ入社して間もない、社会人としてこれから学びをスタートする段階の人間が、半年もしないうちに転職サイトに登録をする、そんな若者が急増していると聞きます。

こうなる要因は、環境や教育といった社会の構図そのものの変化であったり、企業側の姿勢やあり方の問題等々、様々な要因があると思いますが、日常でもテレビをつければしつこいほどに流れる転職サイトのCMなども、こういう風潮をさらに煽る、要因の一つではないかと思って見ております。

今一番露出が多いと思われる転職サイトのCMは、「自分の市場価値」等耳当たりの良い言葉を使い、経験不足で未熟な、まだ自分の市場価値を語るには早いような人間さえも勘違いさせ、誘惑に値する内容であると思っておりますが、その裏で転職ビジネスは大儲けしている訳で、この業界がこれ程儲ける現代社会というのが情けないとも思います。しかし、この流れは当面変えられないとも思います。

嘆いていても先には進みませんので、それであればこの問題に対して自分達は何ができるのか。当社であればそれは言うまでもなく、事務システム管理部門のスリム化に貢献するしかない。せめて当社の存在、役割をもっと金庫の皆様に深く理解してもらって、金庫経営の一助になること、それしかないと思っております。

信用金庫の人材確保難が顕著であるなら、システム担当者を確保育成していくことは更に困難でしょう。

当社の今年度事業目標として掲げましたが、もちろんこれまでやってきた当たり前の取組みですが、共同化共通化への取組みを更に一步前進させたい。あまり理想を追うことはせず、現実的なところで着実に実現していきたいと思います。

メーカー・ベンダーは大事なパートナーですが、業界の運命共同体ではありません。当社はシステム屋に見えるかもしれません、まさに金庫の皆様とは運命共同体です。その認識が強ければ強いほど、皆様と同じ次元で「この難局をどうにか乗り越えなければならない」という危機感の中で仕事をすることになります。

どうか引き続き、当社の業界の存在意義をご理解のうえ、金庫貢献を第一に考える組織として認知いただき、ご支援ご協力を賜れれば幸いです。

お陰様で昨年度の当社売上は過去最高を記録しましたが、その要因はしっかりと分析しまして、出た利益は株主金庫にお戻しますとともに、利益の最適分配をしっかりと考えて、会社の安定稼働にも努めます。システムのみならず、社会の動き、例えば先般のGX金融特区の指定が北海道経済にどう影響するかなど敏感に捉え、当社事業を遂行してまいります。

最後に、当社役員改選に伴い、釧路信金森村理事長、遠軽信金島田理事長が退任となりました。両理事長には1期2年の間温かいご指導ご鞭撻をいただき大変お世話になりました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

## TOPICS.2

# 常務取締役退任 ご挨拶



常務取締役  
池田 達哉

去る6月14日に開催されました定時株主総会をもちまして当社役員を退任いたしました。在任中は、皆様に一言で申し上げられないくらい、長年に亘り大変お世話になりましたこと、衷心より厚くお礼申し上げます。

私は、48年前の昭和51年4月に当時の北海道信金共同事務センターに入社して以来、信用金庫業界のシステムに携わさせていただき、色々な方々とお会いすることができ、皆様からとても多くの教えを賜って参りました。

このことは私がこれまで仕事に打ち込んで来られた礎と思っております。

当社は、平成13年10月に設立してから基盤となる事業展開を行い、平成26年4月には共同センターの統合なども経験し、今日これまで事業を拡大してこられたのも、このような方々の教えや、皆様からの多大なるご支援・ご協力の賜物だと感じております。

これからは、今いるメンバーが今まで以上に事業展開を進めていくものと期待しておりますので、変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、信用金庫業界のますますのご発展と皆様の末永いご健勝を祈念いたしましてご挨拶にかえさせていただきます。大変長い間ありがとうございました。

## TOPICS.3

# 常勤取締役就任 ご挨拶



常勤取締役  
統括部長  
尾崎 敬規

平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

去る6月14日開催の第24回定時株主総会におきまして、常勤取締役に選任されました。

昨年4月の入社以来、慣れない環境・業務へのキャッチアップに励んでまいりましたが、未熟な点が多い中での就任となり、より一層の精進を重ねて成長していく必要があるものと、身の引き締まる思いでおります。

信用金庫業界に身を置かせていただいてからの27年間、地域の発展に大きな役割を果たす全国の信用金庫のために働くことで日本経済を支えていきたい、との信念をもって職務に邁進してまいりました。

当社におきましても、引き続き信用金庫が道内経済で大きな存在感を發揮していくにあたり、この人口減少局面をとらえ、非競争分野である事務・システム面での協業を通じ、これまで以上に貢献できる機会が広がっていくものと考えております。

大役を賜り不安も多いところではございますが、武田社長の右腕として社員と手を携えながら、道内信用金庫の発展に尽力してまいる所存でございますので、信用金庫ならびに関係企業の皆様におかれましては、何卒さらなるご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

取締役  
および  
監査役

代表取締役会長 伴 道 弘 (網走信用金庫理事長)  
代表取締役社長 武田 大二郎  
取締役 山 田 隆 秀 (室蘭信用金庫理事長)  
取締役 池 内 英 二 (北空知信用金庫理事長)  
取締役 武 田 智 明 (旭川信用金庫理事長)

取締役 高 橋 常 夫 (帯広信用金庫理事長)  
取締役 片 山 隆 文 (北見信用金庫理事長)  
取締役 尾 崎 敬 規  
監査役 大 沼 孝 司 (日高信用金庫理事長)  
監査役 関 谷 忠 (北海道信用金庫協会専務理事)

## TOPICS.4

# 共同利用型セキュリティ認証サービス(RADIUSサーバ)の新サーバ導入について

当社のRADIUSサーバ業務につきましては、営業店や本部のPC等を無線でセキュアに接続するサービスとして2014年から提供を開始しております。

お陰様で、現在の利用数は11金庫と大変ご好評をいただいているなかで、システムの上限値である証明書発行枚数および証明書の有効期限が近付いてきたため、金庫要望にお応えできる性能を有した新サーバを本年3月に導入いたしました。

新サーバ導入にあたり、ご利用金庫様につきましては既にご連絡申し上げているとおり、証明書の入替作業等が必要となりますので、大変ご負担をおかけいたしますが、ご対応賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

今後も、安全・確実なサービス提供に努めて参りますので、引き続きお引き立て賜りますよう何卒お願ひ申し上げます。

## Point

【ご対応事項】証明書の入替作業、アクセスポイントの設定作業、現行サーバで発行した証明書の削除

【ご対応期間】2024年10月28日(月)まで

## TOPICS.5

# 「北海道しんきんネットワークエキシビジョン2024」開催のご案内について

本年11月15日(金)に、第5回目となる当社展示会「北海道しんきんネットワークエキシビジョン2024」を開催いたします。

本展示会は、前回同様各企業の皆様と連携し、経営戦略や事務効率化を図るための最新金融情報システムについて信用金庫の皆様に広くご覧になっていただくことを趣旨・目的として実施いたしますので、是非ともご来場賜りますよう心よりお待ち申し上げます。

■開催予定日：2024年11月15日(金) ■開催場所：ホテルニューオータニイン札幌



■第4回展示会(2022年11月11日(金)開催)会場風景

発行：株式会社北海道しんきん情報サービス

〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811